黙想:ファティマの 聖母(5月13日)

黙想のテーマ:「新たな気持ちで聖なるロザリオを祈る」「平和は祈りと罪の償いの結果である」「マリアのみ心は罪に勝利する」

新たな気持ちで聖なるロザリオを祈 る

平和は祈りと罪の償いの結果である

マリアのみ心は罪に勝利する

マリア信心の歴史の中で、20世紀は ファティマでの聖母の出現によって 際立っています。 1917年、世界の大 部分は続く戦争による苦しみに包ま れていました。さまざまな国がしつ こく対立し、暴力で問題を解決しよ うとする中、ポルトガルで、聖母は 何人かの子どもたちに、真の平和へ の道を明かされました。 今日のミサ のために教会が定めた祈りは、ファ ティマのメッセージを要約していま す。「全能の神よ、あなたはおとめ マリアをイエスの母に選び、またわ たしたちの母としてくださいまし た。わたしたちが世界の救いのため にたえず償いと祈りをささげ、キリ ストの国の到来に役立つ者となりま すように | ™。聖母は3人の牧童たち に、御子の平和に与るために、祈り と償いの生活をする必要性を伝えま した。ファティマのメッセージは、 イエスが公生活の初めに告げられた 言葉の反響です。「時は満ち、神の

国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」(マルコ1・15)。

ヤシンタ、フランシスコ、ルチア は、聖母との出会いの後、毎日ロザ リオを祈り、神に犠牲を捧げるよう になりました。 マリアの母としての 願いに対する、この3人の幼い子供 たちの忠実さは、世界中の多くの 人々に希望の道を開きました。 ファ ティマ以来、聖なるロザリオの信心 は、新たな勢いを持つようになりま した。今日、ロザリオを祈る多くの 人々は、キリストの母が、牧童たち に教えた祈りを加えています。「あ あイエズスよ、我らの罪を赦し給 え、我らを地獄の火より護り給え。 また、すべての霊魂、ことに主の御 憐れみを最も必要とする霊魂を天国 に導き給え | 。聖なるロザリオを祈 ることによって、私たちは、どれほ ど大きな慰めを得ることができるで しょう!子供の回心をしつこく願う 母親や父親が、経済的に不安定な状

況に直面している労働者が、福音の 喜びを生きそれを分かち合うことに 全力を捧げたいと願っている若者 が、ロザリオに頼ります…。それは 多くの人々の人生の歴史を変えた祈 りであり、私たちの人生も変えるこ とができるのです。

私たちの祈りを見て、主は喜ばれます。 その御手は、私たちと周りの人々の個人的な歴史を含む全人類の歴史を、支えておられます。 黙示録は、祈りについて語るとき、香のかおりのイメージを使っています。

「香の煙は、天使の手から、聖なる 者たちの祈りと共に神の御前へ立ち 上った」(黙示録8・4)。 私たちの 執拗な祈りに心をかけながら、主は それを成就させるために、歴史の中 で行動されます。ですから、私たち は、忍耐をもって祈ることを学びた いのです。御子が、私たちの言うこ とを聞いていないと思われることが あっても、マリアは、御子を信頼す ることを人類に教えたいのです。カ ナの婚礼で、イエスは、奇跡を起こ すつもりがないように見えました が、聖母は引きません。聖母は御子 の返事の中に、何もしないようにと いう呼びかけではなく、大胆になれ という招きを見ます。そこで聖母 は、召使たちに向かって言われま

す。「この人が何か言いつけたら、 そのとおりにしてください」(ヨハ ネ2·5)。そして奇跡が起こりま す。

「祈りの先生であるマリア。カナでどのように御子にお願いになるかりせ見なさい。根気よく、がっかりせず、執拗に願い、遂に望みを達せられるのを。学び取りなさい」[2]。 聖ホセマリアの助言の言葉は、私たちの祈りによって、主から多くの賜物を勝ち取る助けとなるでしょう。

ファティマの聖母のご保護は、マリアの無原罪のみ心の信心と、結びついています。 ラッツィンガー枢機卿はこう言っています。「『私の無原罪のみ心は勝利するでしょう』。これは何を意味するのでしょうか?神の観想によって清められ、神に開かれた心は、銃やあらゆる武器よりも

強いのです。マリアの心から出た『なれかし』は、世界の歴史を変えました。救い主をこの世にもたらしたからです。マリアの『はい』のおかげで、神は私たちの世界で人となり、永遠にそうあり続けることができたからです』③。

ファティマでの聖母の出現は、人 が、もし、祈りを放棄するなら起こ る危険性について語っています。 し かし、聖母は、私たちが悲観的な歴 史観に陥ることを望んでいません。 聖母の無原罪の心は勝利します。 神 との絶え間ない対話を続けたマリア の模範にならって、私たちも、最悪 の罪を避けることができるのです。 ファティマでのマリアの出現は、私 たちに「破壊の力に対抗する力、す なわち神の母の輝きとそれに由来す る償いへの呼びかけを示していま す。このように、人間の自由の重要 性が強調されています。未来は実 際、変更不可能と決まっているわけ

ではなく、子供たちが見たイメージは、変えることのできない未来の予告フィルムでは決してありません。 実際、あらゆるビジョンの唯一の目的は、自由に目を向け、自由を肯定的な方向に導くことにあるのです」

純朴で信頼に満ちた私たちの祈り は、世界の歴史に私たちを巻き込み ます。それは、問題を知らない人の 甘えでも、良心を静めることだけを 考える人の無関心でもありません。 たとえば、ロザリオの連祷は、病 人、罪人、移住者…など、苦しんで いるすべての人々と私たちを一つに します。彼らのために祈ることは、 神の助けによって、彼らに安らぎを 与えるという、私たち自身の責任を 感じさせるでしょう。私たちは、福 者アルバロ・デル・ポルティーリョ の言葉をもって、ファティマの聖母 に祈ることができます。「私たち は、あなたの無原罪のみ心の中に身

を置きたいと思います。 こうして私たちは、神の子としての喜びと平安を得るのです。 あなたを悲しませるすべてのことが、私たちをも悲しませますように。 そして、あなたの最も愛に満ちたみ心の奥深くに置かれた、御子の御心の中に私たちを置いてくださいますように」 [5]。

- [1] ローマ・ミサ典礼書、集会祈願、ファティマの聖母の記念。
- [2] 聖ホセマリア『道』502番。
- [3] ヨゼフ・ラッツィンガー、神学的注解、教理省、2000年5月13日 (Theological Commentary, Congregation for the Doctrine of the Faith, 13 May 2000)。
- [4] 同。

[5] 福者アルバロ・デル・ポル
ティーリョ、ファティマでの祈り、
1985年11月15日。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/meditation/mokusou0513/(2025/12/16)